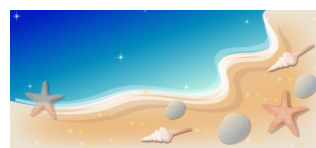




弘前南SSH通信 (夏の行事号2/2)



☆夏に行われたサイエンス行事(後半)

今年の夏も様々なサイエンス行事が行われました。前号の①～⑤に続き、今号では⑥～⑩を振り返ります。

⑥「化学への招待」一日体験化学教室 (8/9 参加者4名 於 弘前大学理工学部・教育学部)

弘前大学の主催で化学分野の学習会が行われ本校からも4人が参加しました。理工学研究科の阿部敏之先生の基調講演(演題「太陽光エネルギーと水から水素をつくる」)のあと、希望するブースに分かれて化学実験の実習を行いました。本校の4人は「分子軌道法—電子はどこにいる?—」というテーマの実習に参加しました。

感想) 普段は平面で表す電子の動きを、PCを使って3次元で捉えることができ、理解が深まった。(3年女子)

⑦SSH生徒研究発表会 (8/9～11 参加者8名 於 神戸国際展示場)

今年度SSHの指定を受けて、神戸市で開催された大会に参加しました。全国のSSH各校の代表が一堂に会し、日頃の研究成果をポスター形式で発表し合いました。本校は「コウライテンナンショウの性転換」に関する研究を発表し、大学の先生など専門家のアドバイスをいただくとともに招待参加された海外の高校生も含め多くの高校生と意見交換を行いました。他校の発表は、テーマや仮説の設定から推論、実験、まとめに至るまで、時間をかけてじっくり取り組んだものが多く、次年度からの課題研究に向けて大きな刺激や参考になりました。最終日はポスター発表から選出された代表校による口頭発表が行われ、とても有意義な大会参加となりました。

感想) 全国大会での発表は最初は不安でしたが途中からは楽しくできました。次年度は自分達の課題研究で、またこの場所に来たいと思いました。(1年女子)



⑧白神未来塾 (8/11～12 参加者10名 於 白神山地ビジターセンター)

青森県自然保護課の主催で世界自然遺産白神をフィールドとした1泊2日の体験学習に本校生徒10名が参加しました。この企画は今後数回の集まりを通して「白神自然カレンダー」を作ることが目的の一つです。今回は「夏の白神」として動物相、植物相について小学生や大学生も交えながら、研修を行いました。講師として本県出身で南極観測隊員の田邊優貴子氏、弘前大学の山岸洋貴先生も加わり、未来塾の第1回がスタートしました。

感想) 実際に林内を歩き、本物を見ながら学べたので樹種にとても詳しくなりました。(1年男子)

⑨3ER実地研修 (8/23 参加者1年次生240名 於 県内各研究所および企業)

4月から1年次生60班で行ってきた3ER探究活動について、関連企業や研究施設の訪問、フィールドワークを行いました。各所で研究者の講義や生徒によるプレゼンテーションを行い、研究成果を確認するとともに具体的なアドバイスや新たな知見を得ることができました。本物を見ることで、より青森県の科学資源の豊かさや可能性を実感し、また課題を知ることができたはず。 [訪問施設]

1	【産技】工業総合研究所
2	郷土館・気象台・中央市民センター
3	【産技】弘前地域研究所
4	ゼネラルホームサービス・津軽バイオマスエネジー
5	【産技】農林総合研究所
6	【産技】りんご研究所
7	【産技】水産総合研究所
8	【産技】野菜研究所
9	ササキコーポレーション・八戸カロラ
10	津軽ダム・白神ビジターセンター
11	弘大白神自然環境研究所
12	六ヶ所エネルギーパーク



○生徒玄関ホールのカウンセリング室脇にSSHの資料コーナーを設けました! 各種行事案内や外部イベントのリーフレットを置くので活用してください。